

第36回 基本問題専門調査会

1はじめに

2町の女性たち手をつなごう 一人の100歩より100人の一歩

○地域の婦人会を核に10団体の女性による女性団体連絡協議会のネットをつなぎ、多くの仲間との連携を図りながら、意識改革と同時に男女共同参画の推進を行動変容にまで移せるようにしたい。桑折町女性団体連絡協議会の結成(平成9年10月20日)

3ここに至るまでには

○国連で、国で、都道府県で、男女平等社会をつくるために

○身近な生活に目を向けると、

「男女共同参画」の言葉ひとつとっても、耳新しく、ごく一部の人や表面的にしか浸透していないのが実態

それどころか、男女不平等社会の現実に何の疑問も持たずに、今なお、人を性別で分け隔てるような意識や習慣が根強く残っている場面にしばしば遭遇

○海外研修 1992年 県婦人海外研修派遣東欧班3名

1995年 県NGO第4回世界女性会議北京会議 世界各国の女性
「思考は地球規模で、行動は足元の地域社会から」

2000年 スウェーデンに

政策決定の場に女性議員・代議士人口が多い 男女共同参画社会を

○町社会教育員 町初代児童館長 ○1991年 辞職まで共働き

4女性団体連絡協議会としての主な展開

ネットワークを図りながら、女性の地位向上、男女共同参画社会推進のための主な実践

(1)「主催事業」

<第1回桃の郷女性のつどい・第4回からは共生のつどい 計10回のつどい>

① 女性の存在のアピール、女性行政参画、交流研修 相談情報提供の拠点となる女性担当課と職員の配置を要望 近隣町村では群をぬいた取り組み、2年後に配置

② 男女共同参画プラン策定のための学習 先進地への視察研修

③ 小中学生を対象に男女平等意識調査の実施

④ 創作寸劇「桑折さんちの茶の間の話題」パート1、2、3

⑤ 学社融合「ゲストティチャー」として小中学生の男女平等の学習に参画 寸劇出演

⑥ 遊びながら楽しく学べる「子供たちによるジェンダーかるた」作製と「かるた大会」活用場面の提起

⑦ 第1回女性模擬議会(町長・助役・教育長、議員、行政管理職、<女性模擬議員>)

⑧ 第2回女性模擬議会(女性模擬<議長 副議長 議員>の10名

女性模擬<町長 助役 教育長 行政管理職>の15名

傍聴者 : 町長,助役,教育長,議長,議員,行政管理職,県議員,町内会長,会員,町民 等)

- ⑨ 「町男女共同参画プラン」策定を要望 H,15年3月策定
- ⑩ 各種審議会委員等に女性登用を要望 新しい視点の提起 立案・実施 推薦母体へ
- ⑪ 町長との町づくり懇談会
- ⑫ 町商工会青年部と合同研修「男女共同参画社会、町の活性化等」
- ⑬ 町議会 県議会 国会の傍聴
- ⑭ 政策・方針決定過程の場に 「女性議員」2名誕生 H,19年9月 14名中3名
- ⑮ 男女共同参画条例制定要望
- ⑯ 自立の町の先進地「矢祭町」視察研修

(2) 「県男女共生センター（女と男の未来館）、県や町行政等との協働事業」

- ① 県男女共生センターオープンニング事業参加
「桑折さんちの茶の間の話題」寸劇 主催事業への参加研修
- ② 県男女共生センター事業 団体との連携講座「男女共同参画リレートーク」
- ③ 町国際姉妹都市へ希望者派遣推薦、県民の翼参加者推薦
- ④ 「安心して暮らせる住みよい町」の意識調査からゴミ減量化への提言
町PR付「マイバック」ロゴ デザイン募集」と500袋製作斡旋
- ⑤ 51町内会長対象に男女共同参画プランを寸劇により推進、単位町内会へ寸劇
- ⑥ 県男女共生センター5周年事業に参画

(3) 「実行委員会」組織による事業

- ① 道路空間賑わい創出のための社会実験
奥州、羽州街道「桑折宿 旅人気分ウォーク」150名の行列
- ② こおり銀の町 蔵
県事業「元気ふくしま地域づくり・交流促進事業」、「県商店街活性化事業 商店街活性化拠点づくり」への応募を町商工会に促す

(4) 町づくり 事業

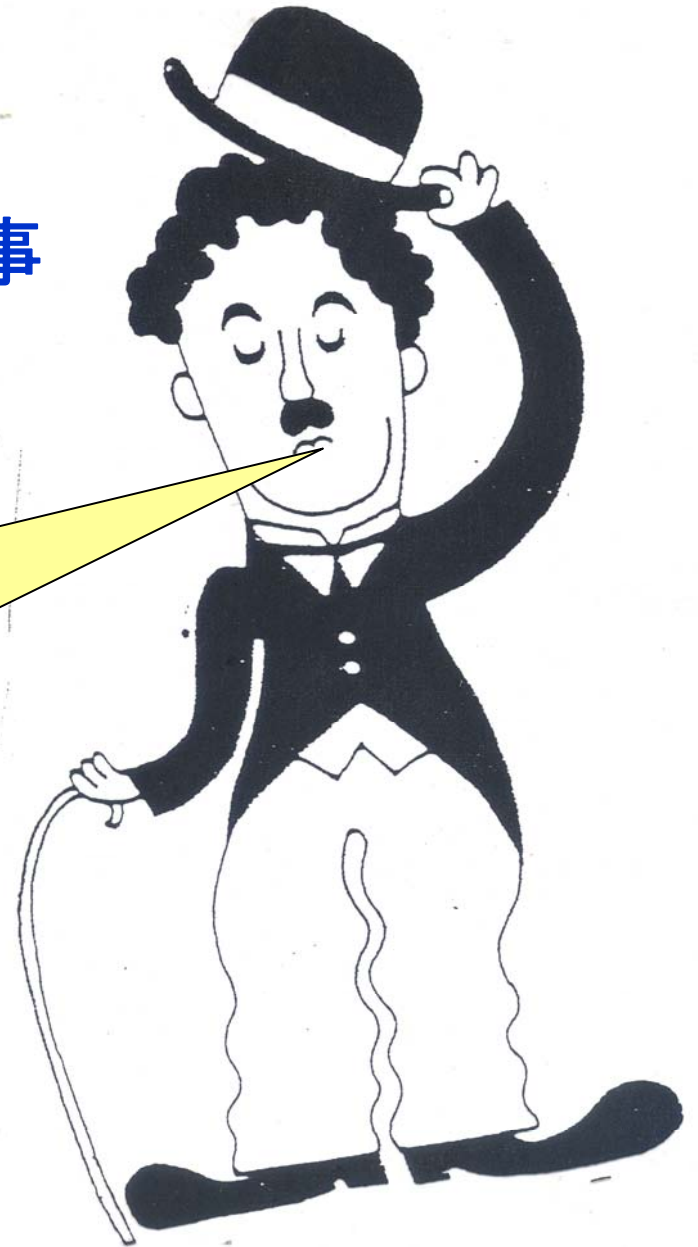
- ① 元気こおり本舗有限責任事業組合の組織「桑折御蔵」の立ち上げと運営
おもてなし処、アンテナショップ 観光案内
「桑折さんちのだんご汁」郷土食の発信（第10回記念大会からの発展）
TV局NHKbs 街道てくてく旅 全国放映
各福島TV局、新聞、冊子等からの取材 パブリシティー効果大 貢献度
- ② 奥州 羽州街道「桑折宿」パートナーシップ登録（日本風景街道）
- ③ 桑折地区歩いて楽しめる地域づくり懇談会
3月2日 街道を活かした町づくりフォーラム～歩いて楽しむために～ 開催予定
「桑折学部会」「町並み部会」「賑わい部会」 「桑折宿まちなか街道」

4 今後の課題（おわりに）

- 町男女共同参画プランの中間見直しの要望
- 条例についての自主的学習会
- 男女の意識の改革（より男女共生の事業を） 第2次 男女共同参画基本計画
- 子ども達、転入者も夢と希望 郷土愛 ○ネットワークとコミュニケーション

桑折町女性団体連絡協議会長
前（財）福島県婦人団体連合会事
畠腹桂子です。

どうぞよろしく
お願いします。

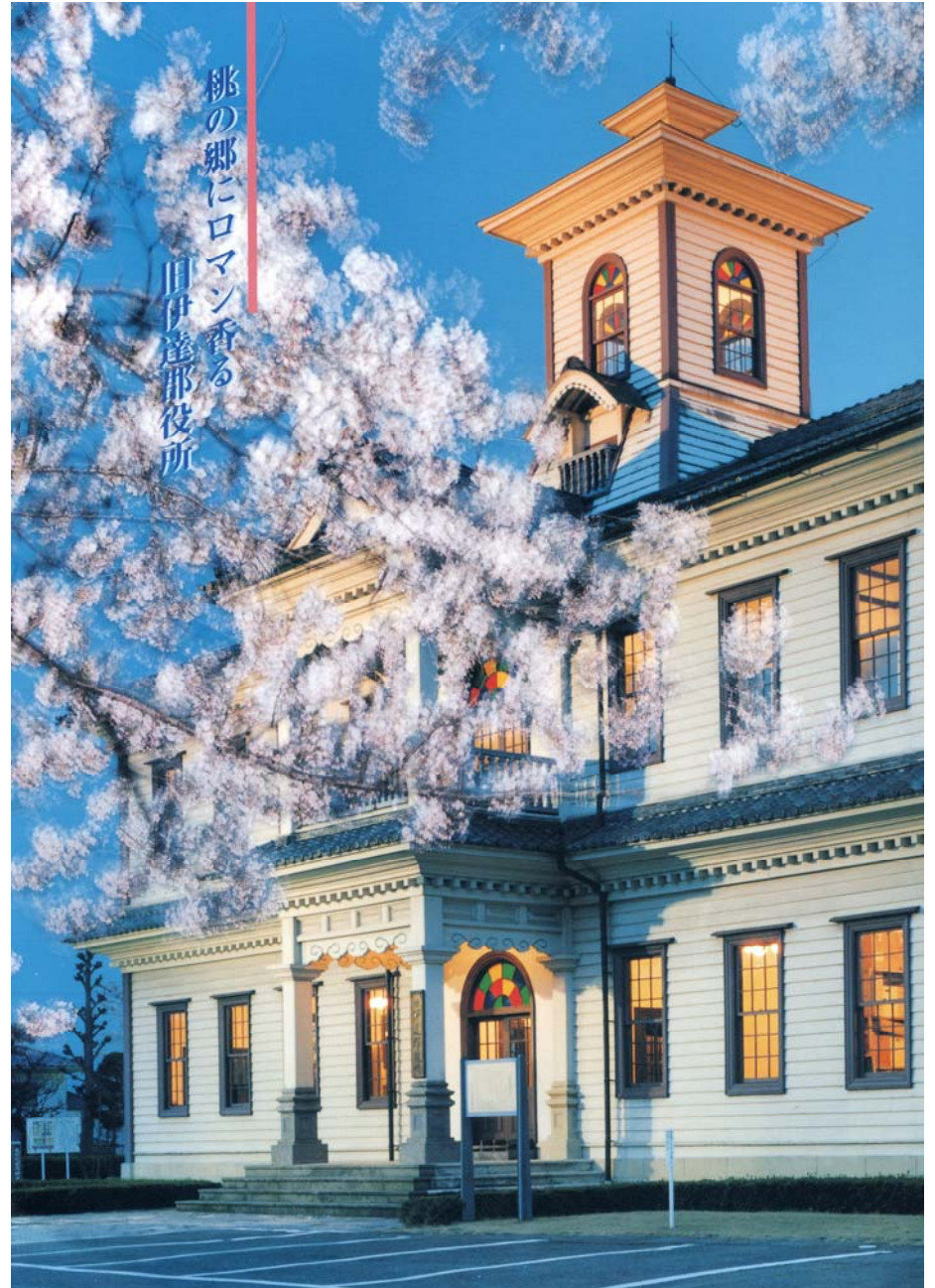






献上桃の郷 桑折町

国の重要文化財
旧郡役所



町女団連のねらい

去る平成9年10月20日に長い間の念願であった「桑折町女性団体連絡協議会」を桑折町の女性団体（10団体）が、一堂に会し連携を図りながら互いに補完し合って、一層主体的に学び、行動実践に移せることを目指し、ひいては町振興・活性化につながり、より安心して暮らせる住みよい町づくりをねらいとして結成しました。

折りしも、本年は「婦人週間」が実施されてから50年目にあたり、名称が「女性週間」と改められた節目の年でもあります。男女が互いに理解し、協力し合い、自分らしい生き方を実現できる社会を創るよう、努力していくことをねらっております。

このような意義深い年に、桑折町女性団体連絡協議会が結成されたことを記念し、桑折町「桃の郷女性のつどい」を開催しました。

活動のテーマ

—21世紀に向けて、自分らしい生き方ができる社会を創ろう—

- 1 女性の地位向上に向けて社会一般の理解を深めるための啓発活動をする。
- 2 男女共同参画社会の実現を目指すため女性の行政参画をすすめる。
- 3 女性、男性がともに尊敬、協力し合いこれまでの社会的・文化的に作られた固定的観念（性的役割分担）の視点を見直す。
- 4 女性のネットワークを図りながら町振興と活性化を進めるための活動をする。

以上、私たちは、21世紀に向けてあらゆる分野に参画し、男女が共に、自分らしい生き方ができる桑折町を創るために、行動することを宣言します。

◎ 主催事業

○ 県・町行政と共に

○ 実行委員会

奥州・羽州街道桑折茶屋まつり
「旅人氣分ウォーク」

第1回 桃の郷女性のつどい



第1回桃の郷女性のつどい



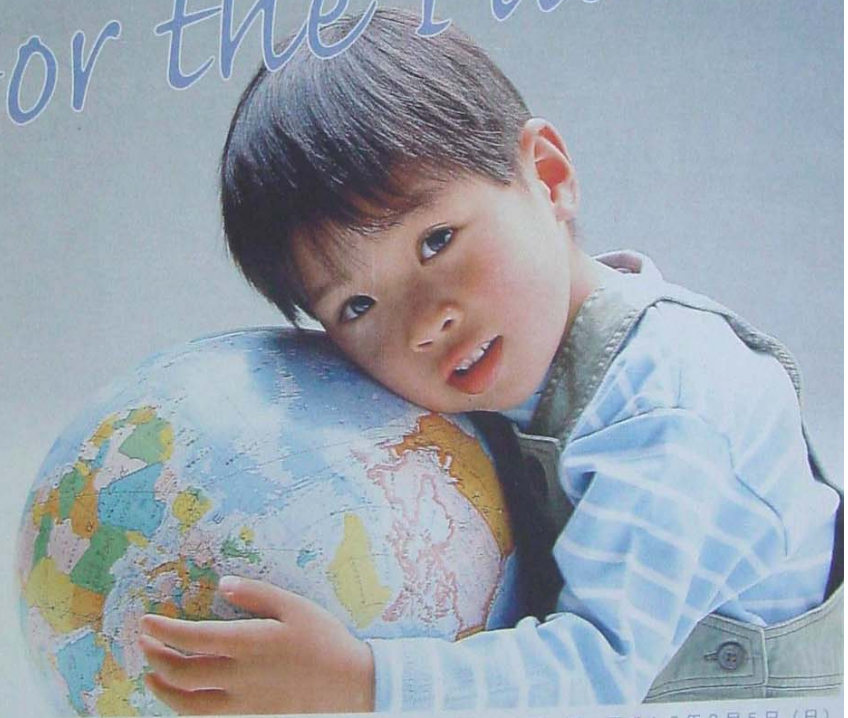
託児ボランティア 学生5名



21世紀へ
男女共生のかけはし

第3回 桃の郷女性のつどい

For the Future



第3回
桃の郷女性のつどい

日	時	平成12年3月5日(日)
		12:30受付 13:00開会
会	場	桑折町中央公民館 大ホール
主	催	桑折町女性団体連絡協議会
共	権	桑折町 桑折町教育委員会
		飛翔21委員会
後	援	福島民報社 福島民友新聞社
		NHK福島放送局 福島テレビ
		テレビユー福島

桑折さんちの茶の間の話題





第5回 桃の郷共生のつどい 小・中学生のトーク



○町内小 中学生における男女平等意識の実態調査の実施（13年）

小学生（女子：77名 男子：79名 計156名）

中学生（女子：83名 男子：81名 計164名） 合計320名

主な調査分野 家庭における 学校 社会における性別役割
性とセルフイメージ 17問設定

結果の1部：男子よりは女子、小学生よりは中学生へと、年齢が上がるにつれ家庭、地域社会、学校でさえも不平等感を「あまり平等でない」も加えると、約6割は不平等感を抱いている。
男女の差別を感じている実態を把握

第5回 桃の郷共生のつどい 寸劇発表



○小 中学校へ学社融合の一環、ゲストティチャーとして（14年）

対象：小6年生 99名 「女らしさ、男らしさ」について90分の授業

対象：中1年生 157名とその保護者

「これは女性向き、男子向き 職業選択」50分授業

これら授業の中で寸劇披露をし、ジェンダーバイアスの働かない自分らしい生き方について話し合い、互いに深めあった。

○子どものための子どもによるジェンダーかるた製作

期間：14, 15年度の2年間 作製部数：300組

対象：小学校4、5、6年 中学校 1、2年

読み札「あ～ん」までの45句 募集 14年度

応募総数 946句（小学校513点、中学校433点）

応募実人数416人（小学校221人、中学校195人）

最終選考2月19日

取り札「あ～ん」までの45（絵札）募集 15年度

応募総数 438点 小学校425点 中学校13点

応募実人数311人（小学校298人 中学校13名）

ジェンダーかるた大会 16年度

第8回 桃の郷共生のつどい かるた大会風景



3 主な活動

◎主催事業

- 1 「桃の郷女性 共生のつどい」第1～第9回 開催
- 2 小 中学校（児童 生徒）と共に
 - 町内小 中学生における男女平等意識の実態調査の実施
 - 小、中学校へ学社融合の一環、ゲストティチャーとして
 - 子どものための子どもによるジェンダーかるた作製
「遊びながら楽しく学べるジェンダーかるた」
- 3 調査「より安心して暮らせる住みよい町を目指して」
- 3 先進地視察研修 川俣町（プラン策定）矢祭町（自立の町）
- 4 町合併離脱についての説明会
- 5 県男女共生センター主催事業 第3回フェスティバル
パート2「桑折さんちの茶の間の話題」寸劇出演
- 6 女性模擬議会
- 7 町議会、県議会傍聴 等等

第7回 桑折町桃の郷共生のつどい

女性模擬議会

(記 録)



桑折町議会議場

平成15年11月13日(木)

13:10~16:30

主催 桑折町女性団体連絡協議会

共催 桑折町 桑折町飛翔21委員会

第7回

桃の郷共生のつどい
女性模擬議会(記録)

とき 平成18年5月17日(水)
ところ 桑折公民館(町民会館)



平成18年度

桑折町女性団体連絡協議会総会



「第9回桃の郷共生のつどい」「第2回女性模範議会」



平成18年度

女性団体連絡協議会総会

男女平等社会実現へ

桑折で桃の郷共生のつどい

テーマ「一人ひとり、生きまうと自分へ、まうとまう」



真の男女平等社会「ジェンダーフリー」の実現を目指す桑折町女性団体連絡協議会（島腹桂子会長）の「第八回桃の郷共生のつどい」は二十九日、町中央公民館で開かれ、講演会やジェンダーカルタ大会などで男女共生の意識を高めた。

つどいは「一人ひとりが生き生きと自分らしく生きるために」をテーマに、四部構成で行われた。町、町教委共催、福島民友新聞社などの後援。約二百人が参加した。はじめに会員が漫

才風に世間を風刺した後、男女平等の地域社会実現の大会宣言を読み上げた。来賓の林王喜久男町長が祝辞を述べた。

共生トーク講演会では、県男女共生センター社会教育主事の天野和彦さんが講師を務めた。

またもちつきやごみ分別の実体験、ジェンダーカルタ大会などのイベントを通じて、出席者が男女共生について真剣に考えた。

▲真の男女平等社会実現の大会宣言を読み上げる会員ら

新聞報道

大会宣言

国際姉妹都市交流

エリザベスタウン市より来町



奥州・羽州街道桑折茶やまつり 「旅人氣分ウォーク」





「桑折御蔵」



元気こおり本舗
有限責任事業組合

桑折御蔵オープン



桑折御蔵



桑折さんちの団子汁

宣言文

桑折さんちのだんご汁

桑折町で収穫された小麦粉を練り 季節の野菜と一緒に煮込んで食べるいにしえより食した郷土料理「だんご汁」
本日ここに「桑折さんちのだんご汁」を桑折町の名物とします

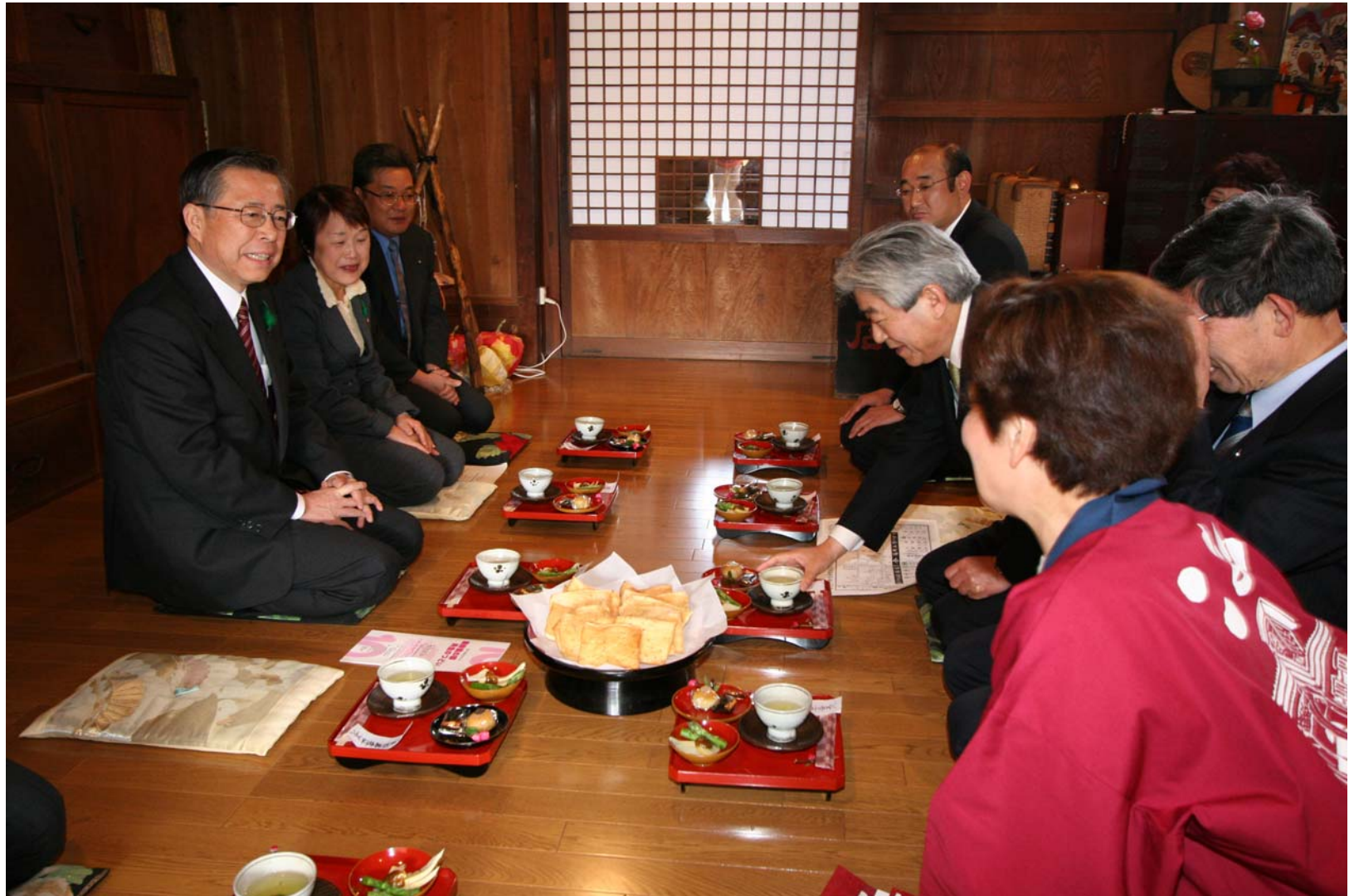
平成十九年五月二十七日

桑折町長 林王喜久男

桑折さんちの団子汁



桑折御蔵



団体活動のマネージメント

- 団体の連携の緊密度
- 情報発信、収集、公開
- みんなの参加～参画へ
- 財源・資金、還元
- 拠点づくり
- 信頼関係
- 時代の求めるリーダー
- 学びの必要性
- 豊かな感性

I am OK , You are OK

I am NO, You are NO

I am OK , You are NO

I am NO, You are OK

終わりに

再びもう一度

コミュニケーションと
ネットワーク

羽州街道の起点

